

海外安全対策情報（２０２２年１０月～１２月）

在ベネズエラ日本国大使館

１ 社会・治安情勢

当地ＮＧＯの統計によれば、２０２２年１０月～１２月に発生した抗議デモの件数は１，４２３件で、前年（１，３６２件）比で約４．５％増加しました。

同期間中、デモ活動の理由として最も多かったのは、経済的・社会的・文化的・環境的権利（DESCA）の要求に関するもので７５％を占めました。１０月は、国内各地で、豪雨による甚大な災害が発生し、家屋の倒壊や水・電気といった公共サービスの不通など生活に大きな被害が発生しました。一方、市民権・政治的権利（DCP）の要求は、全体の２５％を占めました。

２０２２年は、カラカス首都区及び２０の州で、１１４件のデモ活動が治安当局によって抑圧され、３５人が拘束、２１人が負傷しました。抗議デモに関連する死者数は０人でした。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

当地治安当局によれば、２０２２年１０月～１２月の全国の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で約５％増加し、カラカス首都区では約４％増加しました。また、年間を通じては、全国で前年比約４％、カラカス首都区で約１０％増加しました。

（２）各論

同当局によれば、全国的に殺人事件や強盗事件、誘拐事件等の主要な凶悪事件の発生件数は減少しており、この傾向は、カラカス首都区も同様です。凶悪事件がそれぞれ減少しているに関わらず、総犯罪認知件数が増加している理由は、その他の犯罪認知件数が全体的に増加しているからだと分析されています。また、カラカス首都区では、窃盗事件の発生件数が増加しています。

（３）邦人等の被害事案

なし。

３ テロ・爆弾事件発生状況

報道等によれば、国境沿いの地域において、みかじめ料を払わない商店等に爆発物を投げ込む事案が散発的に発生しています。引き続き、これらの地域へは近づかないようにしてください。また、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

４ 誘拐・脅迫事件発生状況

なし。